

パートナーシップ・ミーティング2015
プレゼンテーションフォーラム 提案一覧

日時: 2015年6月21日(日) 13時~16時
場所: OMソーラー株式会社 社屋:地球のたまご(〒431-1207 静岡県浜松市西区村楠町4601)

浜松市市民協働センター

No.(受付順)	協働アイデア(提案団体)	提案事業	協働相手に求めること	協働相手のメリット	協働したい相手
1	『森林セラピーとのコラボレーション』 (チーム・バロン)	森林セラピーを主体に、様々な団体とコラボでのワーク実現し、森林セラピーの幅広さと深さを理解して頂く。	森林セラピーを理解し、森の中でお互いが融合するようにコラボする。	コラボすることにより、宣伝及び普及ができる。 お互いのクライアント同士が交流する。 情報や新しいアイデアの交換ができる。	様々な代替医療の団体(ヨガ、瞑想、セラピー、ボディワークなど)。 自主保育、老人介護、障がい者介護の団体、アートや音楽系の団体、スポーツ、ゲームの団体。
2	『県警が設置した 浜松市のスーパー防犯灯(10基)の無償復活』 (NPO法人静岡県CC緑化協会)	太陽光発電を利用した、監視カメラと通話システムを搭載したスーパー防犯・防災灯10基を浜松駅周辺に設置し、維持・運営する費用を捻出するため、企業広告を掲載してくれる企業を200社程度募集する。	スーパー防犯灯に企業広告を掲載。	広告宣伝費という経費で社会貢献ができ、浜松市の中心街に広告を掲載できたり、広告を流せる。電光ニュースの場合、月額3,000円(税別)で、一口20秒の広告を7か所毎日6回流すことができる。	企業・金融機関・新聞社・マスコミ・商店・飲食店・NPO・防犯協会 等
3	『ひまわり写真展開催』 (ひまわり2525プロジェクト)	ひまわり写真展を開催する際、ノベルティ、販促品を企業に提供して頂き、受賞者へプレゼント。企業に賞の名前(「〇〇賞」)を付けて頂き、企業のPRや親近感の向上を図る。企業へのお願いは大学生に依頼し、企業と関わりを持ってもらうことで、就活を応援。地元企業に就職する人材を増やし、県の転出数ワースト2位の脱却を目指す。	【企業】プレゼント(ノベルティ、販促物等)や展示会場の提供。写真プリントアウト、フレーム(額)の貸与。 【大学生】企業回り	【企業】自社のPR、ファン増加 【大学生】就活の準備が早くからできる	大学生、プレゼントをご提供頂ける企業、展示会を開催して頂ける企業
4	『市民音楽祭での子供向けイベント運営』 (やらまいかミュージックフェスティバル)	やらフェスの当日の子供向けイベント(例えば簡易的な楽器作りのイベントなど)の併設を考えており、こうした事業を活動対象としている団体さんとの連携を検討している。	【共催】集客並びに運営、その部分の収支 【協力】子供と一緒に楽器作りなどの実務作業	やらフェスの中で、あるいは連携の中で、ご自分たちの活動機会を作ることができる。またやらフェス来場者にご自分たちの活動を知っていただける。	本件に関心を寄せて下さるグループ
5	『介護の不安をなくすことができる普及活動』 (NPO法人健康の未来)	室内スポーツである「健康吹き矢」を、さまざまな団体や活動と連携して開催する。体力や服装などに関係なく、誰でも簡単に、一人でも仲間でも楽しめるため、健康増進、ストレス性健康障害や認知症等の予防などに効果がある。	室内スポーツ「健康吹き矢」の開催会場、講座会場提供、参加	メンタルケアの根本的な解決や健康経営対策、「健康吹き矢」の団体戦を通して、チームワークが良くなる・ポジティブになる等、全体にコミュニケーションが抜群に良くなる。	福祉施設、関係医療機関、大学教育施設、社員家族の健康維持に理解ある企業、高齢者や障がいのある人たちを支えるボランティア団体
6	『平成27年度掛川市まちづくり協働推進事業紹介及び募集』 (掛川市生涯学習協働推進課)	まちづくり協働推進事業・行政課題解決事業のうち『テーマ指定型』について行政が指定する課題について、協働で課題解決を目指す事業の募集 補助率:10分の10以内、補助上限50万円 対象:市民活動団体、地縁団体又は企業(協力相手は行政)	行政課題の解決となる市民活動の提案及び実施	・活動資金の確保、団体のPR ・当該分野における行政担当課との関係性の構築	行政の指定するテーマについて、団体としての特性を最大限発揮し、課題解決に協力して取り組むことのできる団体
7	『融資新商品と意識改革教育の提案』 (協働意識改革クラブ)	金融機関の融資先に対する支援策の一環として、融資先が融資の成果を確実に出せるように、資金面と共に「意識改革」教育を組み合わせる事業。融資と意識改革教育を組み合わせる融資新商品の企画運営を金融機関にして頂き、融資先へ提供してもらう。「意識改革教育論」を習得すると、人々がやる気を出し、集団で問題解決に当たり、業績アップを図ることができる。	【金融機関】融資と意識改革教育を組合わせた融資新商品の企業運営 【金融機関+融資先】意識改革方法論のステップ1・2の教育受講 【融資先】ステップ3のプロトタイプ試作、市場での実証評価の実施	【金融機関】融資先への支援策の充実化と差別化ができ、業績アップや新規開拓ができる。 【融資先】「意識改革からビジネス化までのプロセス」を修得することにより、業績アップ・事業拡大などに貢献。	融資元の金融機関(農協、役所など)融資も扱う団体も含む 融資先としての各種企業
8	『墓守り代理業』 (NPO法人オーク)	高齢者の増加や、中・青年層の多忙さから、先祖供養や墓地保護などが疎かになっている人に代わり、墓参り、清掃等を代理する事業を行う。墓参りする人材はヤマハOB他、企業OB会に各地で登録をする。生花、造花はJAファーマーズで揃え、クライアントの窓口は本部事業部とする。広報はアドポスト公民館とする。	企業OB会の有志登録簿を作成し、同時に寺院クライアントの発掘と資源探し	各機関(企業OB会、寺院、JAファーマーズ)の役割に対し、10-30%の限度内に礼金ボランティア協力金を支払う。	寺院(宗派不問)、企業OB会と連携を密とし支援を繋げる団体
9	『学童保育事業とコミュニティビジネス事業の融合による自主運営』 (NPO法人マザーリーフィングス Coucou)	・空き店舗や物件、モデルハウス等を活用し、子供の「居場所」を形成する他、そこに参加する方や利用する方による協働事業で自主運営を目指す。 ・スキルがある方の活動の場を提供・提案・企画をし、主催者と利用者の相互需要を増加する。	・講座やワークショップ、イベント等の企画と運営、場所の提供 ・活動内容の告知・案内等の情報配信	・来場の新規訪問者の長い滞在時間により、モデルハウスの特徴を伝える役割をする。 ・個人で活動されている場合、拠点の増設として利用することができる。	・住宅会社関係・不動産関係・空き部屋・空き物件を所有する企業や団体 ・地域のまちづくりやコミュニティ形成の増進を図る企業、又は団体
10	『防潮堤市民植栽への参加』 (浜松市産業部農林業振興課)	実施時期:平成27年度11月中下旬から12月上旬 場所:防潮堤整備完了区域 参加募集時期:平成27年度8月頃から 事業効果:①市民の手による保安林の回復 ②防潮堤に対する市民理解の増進など	事業内容:防潮堤整備が完了した区間の陸側方面の下段にクロマツ等の苗木を植栽	植栽という形で、市民の生命と財産を守る防潮堤整備に関わることができる	市民団体
11	『東北スタディツアーから学んだこと・考えたこと』 (浜松市立東部中学校)	平成27年度8月19日~21日東北スタディツアーを実施 ・現地では被災地ガイドツアーを行い2泊3日の民泊体験をする。地元の小泉小学校や仮設住宅の方々とも交流をし、震災に対する理解を深めると共に、浜松と気仙沼のとのネットワークまちづくりを行う。 ・現地の今を校内のみならず浜松市民に伝え、浜松市の防災対策に役立つ視点を中学生の対場から発表する。 ・生きた減災教育を受けることは、次世代の減災リーダーの育成にもつながり、これからの浜松の街づくりにもつながる。	・現地での活動コーディネーターと学校との調整役 ・ツアーへの協賛、寄付をお願いしたい	・地域で応援してくれた企業として、校内及び市民に向けての報告会で公表すると共に「東北減災スタディツアー」の報告会を東部中学校の学校便り、ブログなどで公開。 ・【現地NPO】東北復興につながる様々な活動への理解と支援が得られる。	・活動への理解を頂いた全ての市民と企業 ・現地のNPO団体